

## 地域の協議体の現状について

## ○一色小学校区（いちふく）

主体：一色小学校区福祉協議会

場所：一色小学校地域交流ルーム

頻度：2か月に1度

周知方法：会長より案内

主席者：地区からの充て職（地区長、地区社協、民生委員、社会福祉法人、社協、町等）

## ○二宮小学校区（クローバーの笑・和・輪）、山西小学校区（たんぼぼささえたい）

主体：生活支援コーディネーター、町

場所：介護事業所（コロナ禍においては町社協会議室）

頻度：3か月に1度

周知方法：生活支援コーディネーターより、電話やメール

出席者：過去のセミナーに出席している、有志

## ○地域の協議体の課題

## ① 地域づくりにおける意識の統一について

→目指す目的の設定が難しい

## ② 出席者への周知方法

→手間と時間がかかる

## ③ 出席者の固定化

→新しい人や団体を巻き込めていない